

「田代小学校の上柴立棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立田代小学校

2 学年・人数

5, 6年生 21人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

7月23日, 24日 8月20日, 26日, 27日

(2) 発表の日時・場所

9月23日 錦江町立田代小学校 校庭

11月3日 第15回錦江町文化祭

11月10日 第43回肝属地区広域文化祭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事について

(1) 名称

上柴立棒踊り (かみしばたてぼうおどり)

(2) 由来

田代地区の棒踊りは, 五穀豊穰や無病息災を願い, 薩摩半島から百年前に伝わったとされる。

(3) 構成等

上柴立棒踊り保存会 8人

5 保存会や地域との連携の具体

地元の文化を引き継ごうと保存会のメンバーが小学校の夏休み期間を利用し毎年5日間, 夜の7時半から9時まで指導してくださる。主に保存会長と連絡を夏休み前にとり, 日程を決める。5・6年児童が4人一組となって隊列を組み練習し, 大きなグループを形成する。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

昨年度は, 運動会で披露した様子が9月28日付の南日本新聞で紹介された。これまでは, 法被も田代支所から借りていたが, 町より特色ある教育活動費として計上して頂き, 学校で購入することができた。また今年度は11月3日に(第15回錦江町文化祭)にてステージ披露した。更に, 11月10日には(第43回肝属地区広域文化祭)でも披露した。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【夏休み期間の練習の様子】



【運動会当日の発表の様子】



【町文化祭での発表の様子】



【地区広域文化祭での発表の様子】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【保存会】

- ・ 過疎高齢化が進み、踊りを知る住民が少なくなった。今後も児童への指導を続け、後継者を育てていきたい。

【教職員】

- ・ これまでは法被も田代支所に借りに行っていたが、特色ある教育活動として予算を組んでいただき、法被の年次的な購入やクリーニング代を賄うことができている。私たち教職員も伝統芸能として大切に受け継ぎ、これからも守っていききたいと思う。

【児童】

- ・ 夏休みにある夜の練習はきついこともあるが、しっかり練習して運動会で発表したい。練習では録音したものを使うが本番では生歌を披露してくださる。打楽器等が入っていないためリズムをとるのがとっても難しいが、保存会の方々の熱意を感じながら一生懸命練習している。